



深見 麻衣 / 野菜ソムリエ

大阪・泉佐野市 三浦農園

水なすを中心に玉葱、キャベツ、春菊など泉州の特産野菜を栽培。泉州黄玉葱（今井早生）の栽培をきっかけに、なにわの伝統野菜の栽培・普及活動にも取り組んでいる。

Q A 受講のきっかけは

実家が農家。小さい頃からその大変さを知っていたため、農家だけにはなりたくないと思っていました。しかしある日、突然夫が脱サラし2年間、農業の学校に通うと宣言されました。それをきっかけに私自身も本気で農業に向き合い、農業をしてみよう！と決意。その一つとして、「野菜ソムリエ」は農家にとっての武器・自分の強みになると思い受講しました。

Q A 野菜ソムリエ取得後の変化や良かったことは何ですか？

催事やマルシェなど店頭立つときに足を止めて話を聞いて頂くきっかけになり、選び方やオススメのレシピなどお伝えすることができるようになりました。また、「野菜ソムリエ」であるということで生活者である買い物にお越しの方から様々なご質問を受けることも増えました。普段栽培していない野菜や果物についてもとても興味を持つようになりました。

Q A 今後の目標は？

今では、農業を子どもが憧れる職業にしたいと思っています。食育活動を兼ねた農業体験を行っています。土を触りながら野菜の話をしたり、農業の魅力を感じてもらい、一人でも農業に興味を持つ子どもが増え、かつこいい、いい仕事だと思ってもらえたらいいなと思います。



資格を検討中のみなさまへメッセージ

新しい発見、知識、多くの繋がりが増え、視野が広がります。野菜ソムリエはご自身やご家族の生活に活用できる資格です。まずは資料請求、説明会にご参加してみてください！



池田 大輔／野菜ソムリエ

大阪・枚方市 タイロンのうえん農園長

大宝工業株式会社の社会貢献事業で、障がい者や高齢の方を積極的に雇用。「新鮮」「安全」「手作り」「昔ながら」にこだわってお米、野菜、果物、加工食品の生産から販売までを行っている。

Q A 受講のきっかけは

野菜ソムリエの資格が出来た当初から受講を考えていたのですが、農園を立ち上げたばかりで忙しく余裕もなく断念しました。約16年の月日が流れ2018年。農園事業も少し落ち着いてきた事もあり受講を決意。今まで農業に携わってきた知識の整理整頓と農園で働く従業員の社員教育にも活かしたいと考えました。

Q A 野菜ソムリエ取得後の変化や良かったことは何ですか？

講師から直接講義が受けれる事を魅力と感じ、通学制を選択しました。仕事と両立しながらの受講は大変でしたが、振替制度があった事でとても助かりました。他の受講生もとても熱心な方が多く、とても良い刺激を受けました。授業についていけるか少し不安でしたが、とても楽しく学ぶ事が出来ました。資格取得後、フルーツセットの名前を「ベテランバイヤー厳選」から「野菜ソムリエ〇〇厳選」と変えたところ、売り上げがアップ。改めて、野菜ソムリエの認知度に驚きました。

Q A 今後の目標は？

農園ではInstagramを使って情報を発信しています。野菜ソムリエ協会大阪支社をはじめ、他の野菜ソムリエさん達とも繋がり、たくさんの方々に農園の活動を知ってもらえました。取得して終わりではなく、取得後もいろんな人とつながる事が出来るのも魅力感じています。今後もっと多くの人に農園の活動を知ってもらい、従業員のモチベーションアップにつながっていけばとてもうれしいです。

★ 資格を検討中のみなさまへメッセージ

私自身、一番後悔している事は「もっと早く受講すればよかった」です。16年も後回しにしてしまったのは本当にもったいないと思っています。これから受講を考えている方には、思い立った時に、すぐに行動する。これを絶対におススメします！！

資格取得者インタビュー【農業従事者編】



森 潤 / 野菜ソムリエプロ

京都・城陽市 森秀吉農園

城陽の特産品であるイチジクを栽培する農園の4代目。
東京でエンジニアとして働いていたが、5年前に子供が小学校になるのを機に地元に戻り農家に。6次産業化にも挑戦中。

Q A 受講のきっかけは

明確な目標があったわけではないのですが、「城陽市の特産品であるイチジクに付加価値をつけたい！」「地域の特産品の魅力を伝える活動を行いたい！」「野菜や果物のことをもっと勉強してみたい！」という想いから、野菜ソムリエに興味を持ち、思い切って、野菜ソムリエプロコースを受講しました。

Q A 野菜ソムリエ取得後の変化や良かったことは何ですか？

貿易のこと、食糧問題、農業に関連する法律のことなど、多くのことに興味を持てるようになりました。
また、コミュニティに参加したことで、多くの先輩野菜ソムリエの方と繋がることができました。

Q A 今後の目標は？

私の野菜ソムリエとしてのビジョンは、「地域の特産品を守り、その魅力を伝える活動を通して、地域の発展に貢献する野菜ソムリエ」です。このビジョンの達成に向けて、まずは野菜ソムリエとして地域のイベントなどでイチジクの魅力を伝える活動を積極的に行っていきたいです。そして、イチジクだけではなく、城陽市の特産品である碾茶、梅（城州白）などにも活動の場を広げていきたいです。

★ 資格を検討中のみなさまへメッセージ

資格を取得したからといって、すぐに大きな変化があるわけではないと思いますが、ビジョンを持ち活動を続けることで、野菜ソムリエとしての活躍の機会が広がっていくと信じています。
野菜ソムリエとして活躍している皆様にどこかでお会いできればうれしいです。